

医療・ スポーツ 機能

診療・研究部門

大阪大学 
(医学系研究科
工学研究科
情報科学研究科)

- ・運動器健診
- ・脳機能健診
- ・スポーツ循環/呼吸器健診
- ・バイオメカ/運動生理・心理 解析指導
- ・運動器・脳ドック…障害の初期発見、故障の防止
- ・専門病院への紹介
- ・研究、教育…トレーニング、リハビリのメカニズム解明、スポーツ専門医の育成等

バルニバービ

ホテル・レストラン・ 住居部門

- ・短期滞在またはエグゼクティブ向けプレミアムルーム
- ・長期/リハ滞在または合宿等向けアスリートビレッジ
- ・栄養指導、生活指導
- ・スポーツ栄養学に配慮したレストラン
- ・スマートウェルネス住宅

シップヘルスケア

ミズノ

J-Workout

スポーツ & パフォーマンスアート部門

- ・運動指導実践
(各種競技施設を整備)
- ・アスレティックリハビリ
- ・神経リハビリ

*ダンス、バレエ、音楽等のハイパフォーマンスアーティストにも対応

チャコット

ホール・ コンベンションセンター部門

- ・芸術文化ホール
- ・学会等の開催ができるコンベンションセンター

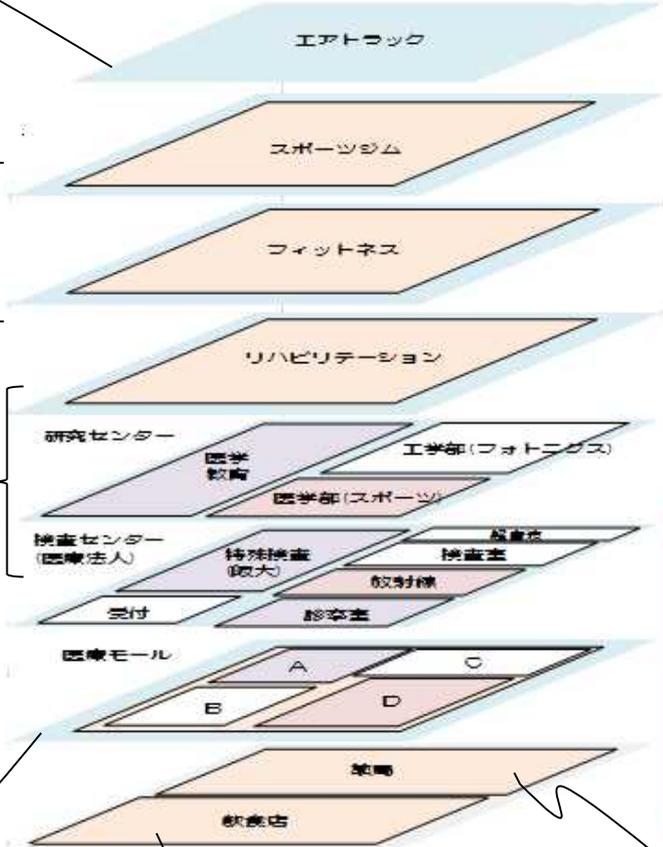
*アスリート向け医学セミナー、トップアスリートによる市民講座、アーティストによるコンサートなど、施設特性を活かしたイベントに対応

文化・生活 機能

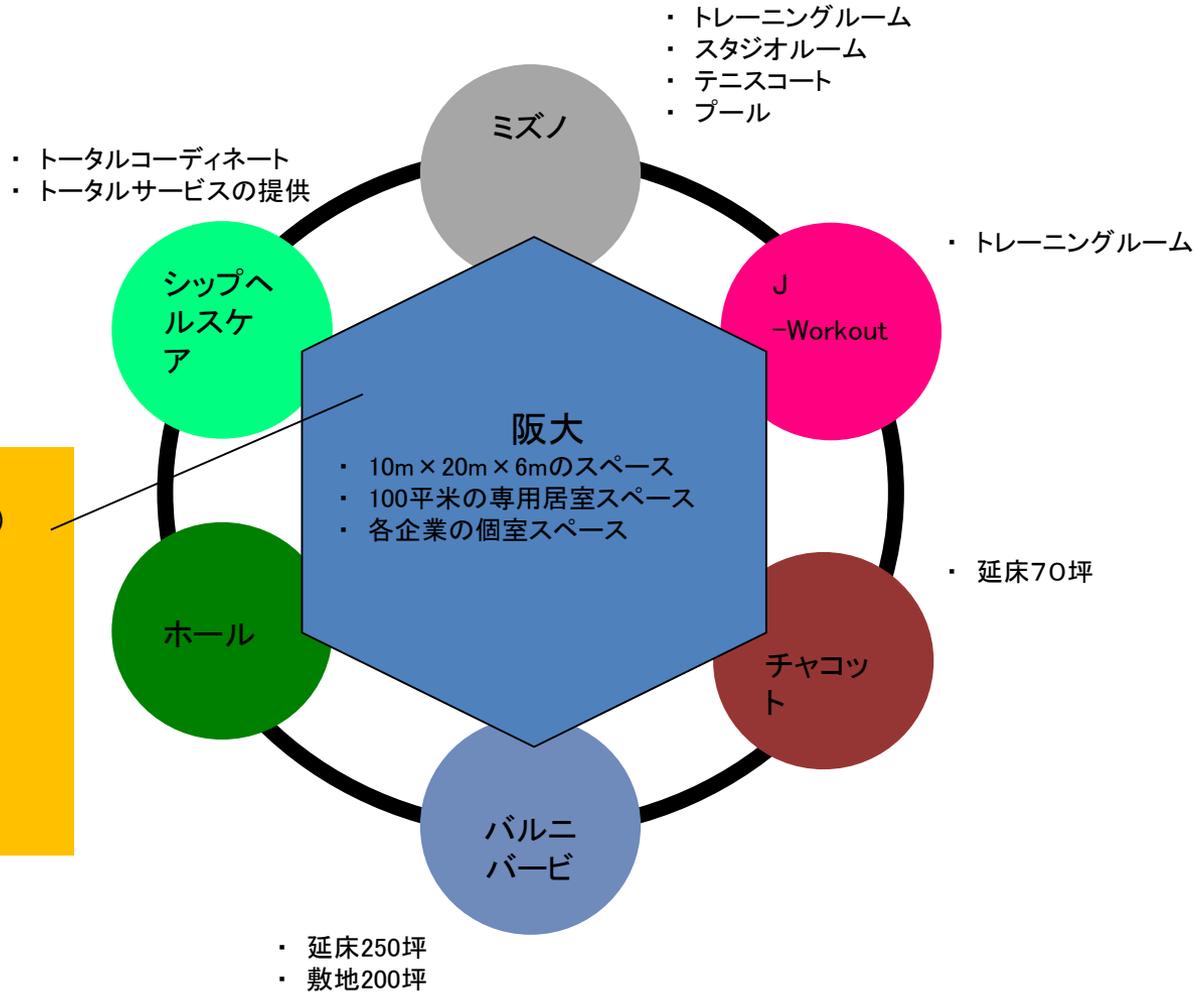
全機能のイメージ



"+α"スポーツ科学の特色!!



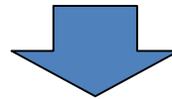
拠点での規模感（案）



最後に

＝「世界で唯一無二の街」づくりの提案と大阪大学の役割＝

- 大阪大学は、「関西スポーツ科学・ヘルスケア総合センター（仮称）」を活動拠点として、“箕面市でしか創れない街”づくりのなかで、スポーツ科学とスポーツ科学から生み出された「医学に裏付けられた」ヘルスケアサイエンスという大学として有する智を活かし、社会に新しい価値／箕面市でしかつくりえない価値を生み出す仕掛けのコア機能としての役割を担う。
- 大阪大学は、持てるサイエンス、機能（公正な判断・検証・評価、人材育成機能など）、オープンな研究環境（場）を提供することにより、単体・単独では生まれえない地域・異文化・異業種の融合も含めた共鳴を生み出し、オープンイノベーションの潮流を巻き起こす起爆剤になる。そして、参画する企業も含めた周辺機能を活かし、また活かされながら、さらなる相乗効果も導出して、スポーツ科学・ヘルスケアサイエンスの総合的研究拠点が核となった、市民への新たな価値の還元が加速する魅力ある新たな街が形成されることを望む。
- スタート時点の構想、つまり、最初に見える仕掛けは氷山の一角であるが、相乗効果によって周辺の裾野が広がっていくことで、より高くそびえ、より多彩な、魅力あるシステムに成長すると確信している。



Q：どんな街？・・・ A：こんな街です！

住民が、アスリートが、アーティストが、企業が、学生が、活発に行き交い、
大阪大学といっしょに、スポーツ科学・ヘルスケアの新しい価値創生に
誇りをもって協働して取り組み、成果がすぐに市民に還元される、
活きのいい・高齢者、障害者にも楽しい街・・・

地域未来投資促進事業

平成28年度第2次補正予算案額 **1001.3億円**

中小企業庁 技術・経営革新課 03-3501-1816
 商務情報政策局 サービス政策課 03-3580-3922
 中小企業庁 経営支援課 03-3501-1763
 中小企業庁 小規模企業振興課 03-3501-2036
 通商政策局 経済連携課、アジア大洋州課 03-3501-1595、03-3501-1953
 中小企業庁 商業課 03-3501-1929
 地域経済産業G 中心市街地活性化室 03-3501-3754

事業の内容

事業目的・概要

- 国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するために中小企業・小規模事業者の経営力向上を図ることが必要です。
- 地域における革新的ものづくりやIT導入に加え、海外展開加速化等の政策目標を踏まえ、先進的な観光開発や輸出拡大等を幅広く支援します。
- 具体的には、中小企業者等の革新的ものづくり・商業・サービスの開発や、中小企業等経営強化法に基づくIT導入の取組を支援します。
- 加えて、中堅・中小企業が、事業機会拡大が見込まれるTPP参加国やアジア地域において、市場開拓、共同実証等を行うこと等を支援します。

成果目標

- IT等を活用した革新的ものづくり開発を支援し、事業終了後5年以内に事業化を達成した事業が半数を超えることを目指します。
- 中小企業者等に生産性向上のためのITを導入することで、経営力向上計画で定めた目標を達成することを目指します。
- 本事業で海外展開を目指す企業の海外市場獲得率が60%を超えることを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

事業の詳細

1. 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援事業

- 中小企業者等が第四次産業革命に向けて、IoT・ビッグデータ・AI・ロボットを活用する革新的ものづくり・商業・サービス開発を支援。
(補助上限：3000万円、補助率：2/3)
- 中小企業者等のうち経営力向上に資する革新的ものづくり・商業・サービス開発を支援。
(補助上限：1000万円・500万円、補助率：2/3)

※雇用・賃金を増やす計画に基づく取組については、補助上限を倍増

※最低賃金引上げの影響を受ける場合は補助上限を更に1.5倍(上記と併せ補助上限は3倍)

2. 中小企業IT経営力向上支援事業

(1) サービス等生産性向上IT導入支援事業（補助率：2/3）

中小企業等経営強化法に沿って、経営力向上を支援するITシステムの導入等費用の一部について補助。

(2) 経営力向上・IT基盤整備支援事業（委託）

中小企業者等の業種の垣根を越えた企業間の電子データ連携に関する調査を行うとともに、ITを活用して経営力向上を図る取組事例を紹介する相談会等を開催。

(3) IT関連の専門家等派遣事業（委託）

中小企業者等における、ITを活用した経営戦略の策定からITの導入に至るまで、様々なステージの取り組みを支援するため、専門家の派遣を行う。(2年で1万社)

3. 需要開拓支援事業（中堅・中小等）

(1) 小規模事業者広域型販路開拓支援パッケージ事業

小規模事業者等に、アンテナショップなどの販路開拓等を図る場を提供する取組を支援。

(2) 海外展開戦略等支援事業

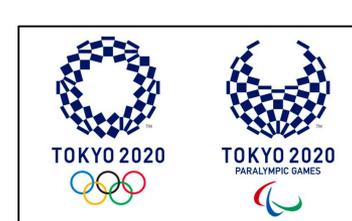
専門家によるアドバイス・情報提供の実施や、現地企業との共同実証の支援により、中堅・中小企業の海外市場獲得を推進。

(3) 観光資源等を活用した地域高度化計画の策定等支援事業

地域の観光産業の高度化を図るための先進事業や連携計画の策定等を支援

(4) 商店街・まちなか集客力向上支援事業

外国人観光客の消費を商店街・中心市街地に取り込むとともに、消費喚起に向けた機能向上、施設整備を促進



スポーツ研究イノベーション拠点形成プロジェクト

【事業概要】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会での我が国アスリートのメダル獲得や、2020年以降の我が国のオリンピック競技及びパラリンピック競技の国際競技力の更なる向上を目指し、スポーツに関する独創的で革新的な研究や、地域・組織の特性を最大限に生かした斬新な研究について、次世代の中核を担う優秀な若手研究者の育成への取組を含めて行う機関を「スポーツ研究イノベーション拠点」として指定する。

- ▶ 拠点では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会での我が国アスリートのメダル獲得や、2020年以降の我が国のオリンピック競技及びパラリンピック競技の国際競技力の更なる向上を目指し、研究者の自由な発想に基づき、スポーツを中核として最先端の様々な研究分野と融合・連携したこれまでにないスポーツに関する独創的で革新的な研究や、地域や組織の特性を最大限に生かした斬新なスポーツに関する研究等を実施。（オールジャパン体制の構築）
- ▶ また、スポーツ研究イノベーション拠点の特徴を生かしたスポーツにおける次世代の中核を担う優秀な若手研究者を育成するためのプログラムを策定し、当該プログラムに基づき若手研究者を育成する。（新たなスポーツ政策の企画・立案、強化現場における新たなサポートへの反映など）

Projectのイメージ



スポーツ研究イノベーション拠点での取組

スポーツに関する独創的で革新的な研究等の実施

スポーツを主とした新たな研究領域の形成
(Only One拠点)

【オープンイノベーション】

スポーツ + 異分野

若手研究者を対象とした育成プログラムの実施

拠点の特徴を生かした次世代の中核を担う優秀な
若手研究者の育成

若手研究者
育成プログラム
の策定

次世代の中核を担う
優秀な研究者の育成

密接に
連携

ハイパフォーマンスセンター (Japan High Performance Sport Center)



◎国立スポーツ科学センター
【スポーツ医・科学研究/
サポート、メディカル】



◎ナショナルトレーニングセンター
【トレーニング、強化活動等】

SRIPの発展

